

# 弘前市庁舎の概要



写真撮影 廣田治雄

日本の「モダニズム建築」をリードした、巨匠前川國男。弘前には前川の日本での第1作から晩年作までの建築作品が数多く残されており、前川作品の歴史をたどることができます。弘前市庁舎は、その中で3番目に竣工された建築です。

## 前川國男 (1905-1986)

新潟県生まれ。大学卒業後にパリに渡り、近代建築の巨匠ル・コルビュジエ（設計した国立西洋美術館等の建築群が世界文化遺産に登録された建築家）に師事。帰国後、レーモンド建築設計事務所を経て前川國男建築設計事務所を設立し、国内外で多くの作品を手掛ける。

前川の母の生家が旧弘前藩士であること、留学中に弘前市出身の木村隆三と親交を深めたことなどから、帰国後初めて自身の名で手掛けた作品が、木村産業研究所となった。以後、弘前とのつながりを深くしていく。

1905 (0 歳)	誕生
1928 (23 歳)	渡仏し、ル・コルビュジエに師事
1930 (25 歳)	帰国し、レーモンド事務所入所
1932 (27 歳)	木村産業研究所竣工
1935 (30 歳)	前川國男建築設計事務所を開設
1954 (49 歳)	青森県立弘前中央高等学校講堂竣工
1958 (53 歳)	弘前市役所本庁舎本館(現前川本館)竣工
1964 (59 歳)	弘前市民会館竣工
1971 (66 歳)	弘前市立病院竣工
1974 (69 歳)	弘前市役所本庁舎新館(現前川新館)竣工
1976 (71 歳)	弘前市立博物館竣工
1980 (75 歳)	弘前市緑の相談所竣工
1983 (78 歳)	弘前市斎場竣工
1986 (81 歳)	逝去

## 外 観

### 外壁

前川本館：コンクリート打ち放しの柱と梁、外壁にはレンガタイルを使用。  
前川新館：打ち込みタイルを使用。



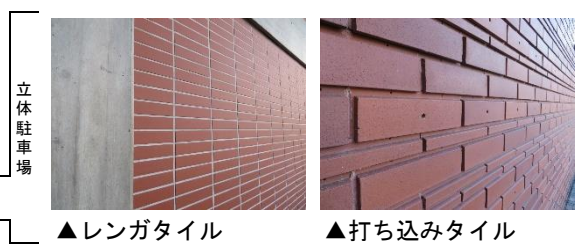
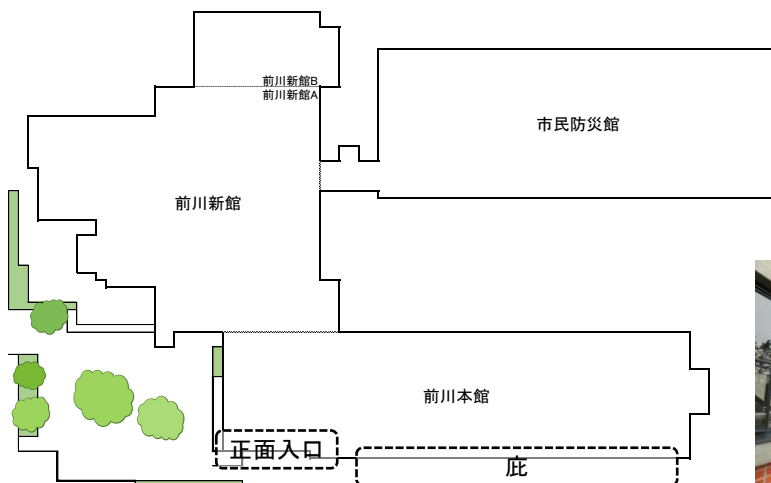
### 庇 (前川本館)

「こみせ」という家の前の屋根付き通路をイメージして、大きな庇を建物の周辺に巡らせた。

### 正面入口 (前川本館)

軒下には群青色が塗られ、風格ある外観の建物に、市民が気軽に出入りしやすいように配慮した。

前川「群青色は日本の夜明けの色」



▲レンガタイル

▲打ち込みタイル



▲庇



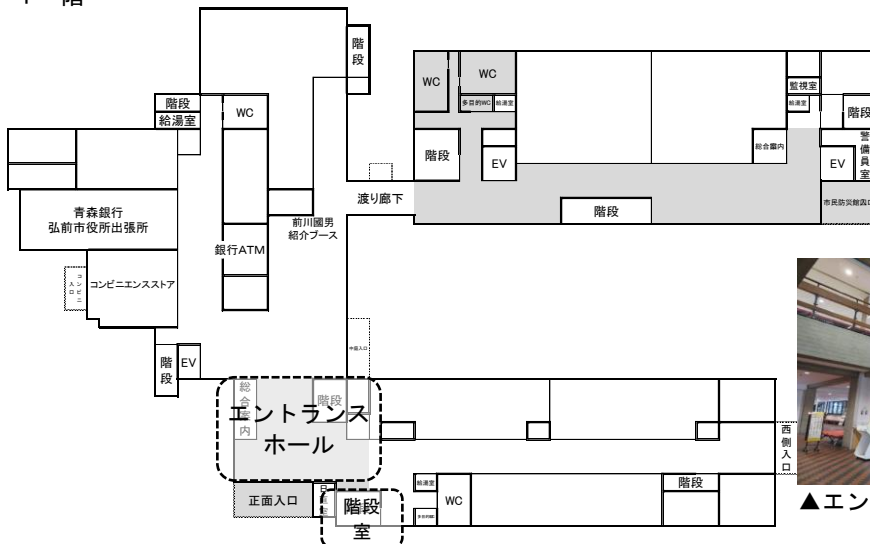
▲正面入口

# 内観

※休日の見学は、「休日に見学可能な範囲」のみとしてください。

…休日に見学可能な範囲

## 1 階



### エントランスホール

吹抜けのある開放的な空間。天井の木製ルーバーは、竣工当時のようすを復元したもの。

### 階段室

壁面には赤色が塗られている。  
前川「赤は人を楽しく高揚させる色」

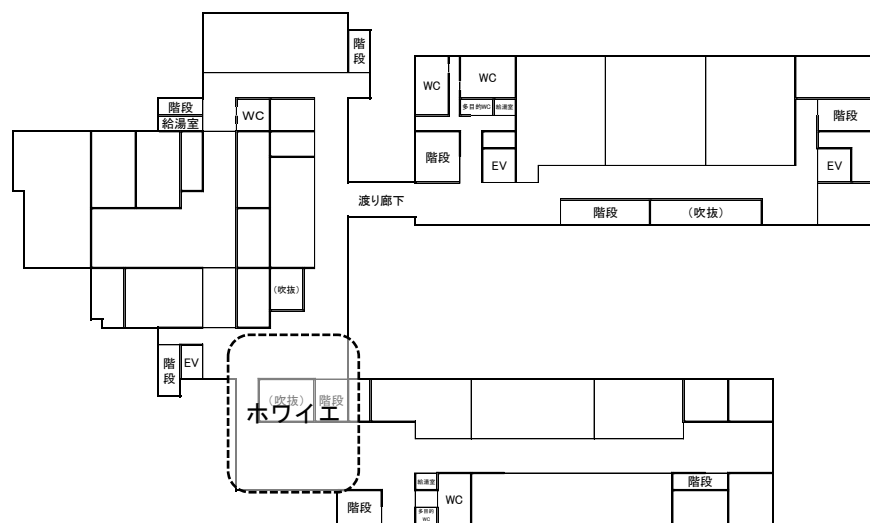


▲エントランスホール



▲階段室

## 2 階



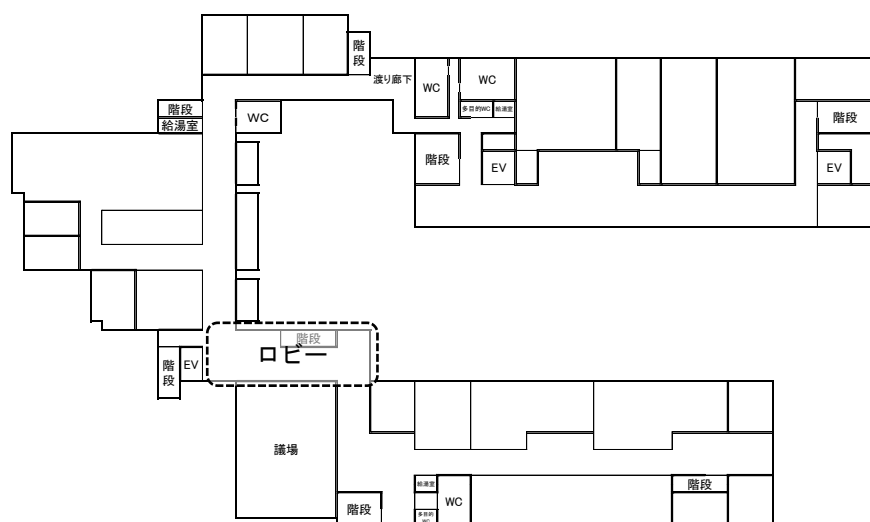
### ホワイエ

ゆったり公園をみながら休憩できる、大きな窓が配置されている。



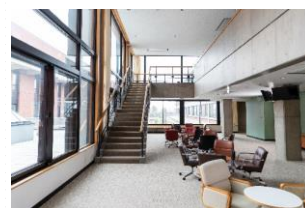
▲ホワイエ

## 3 階



### ロビー

広々としたつくりで、光が差し込む開放的な空間。



▲ロビー

【建物概要】敷地面積：14,485㎡ ☆は前川國男による設計

1958 (S33)	前川本館：RC造（耐震改修）地上4階	約5,384㎡ ☆
1974 (S49)	前川新館A：RC造（耐震改修）地上6階地下1階	約4,490㎡ ☆
1992 (H4)	前川新館B：RC造（内外装改修）地上6階	約1,408㎡
2014 (H26)	立体駐車場：S造地上3階（3層4段プレハブ式自走式）	約6,172㎡
2016 (H28)	市民防災館：RC造（免震構造）地上5階地下1階	約5,109㎡

この資料は、市HPでもご覧いただけます。  
<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/matn.html>

弘前市都市整備部都市計画課  
 TEL：0172-34-3219 FAX：0172-35-3765  
 Email：toshikeikaku@city.hirosaki.co.jp